

JICA筑波 職場体験（中学生）

- 日時：平成25年7月24日（水）～26日（金） 9：30～16：00
- 目的：①JICAの仕事の役割や意義を理解し、自己の果たすべき役割についての認識を深めていく能力を育成する。
②職業や進路等に関する様々な情報を収集するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や行き方を考えていく能力を育成する。
- 訪問：中学2年生 2名
- 1日目 プログラム

時間	内容	担当（敬称略）	場所
9:30	到着	藤田	管理棟
9:40-10:40	プログラム説明、自己紹介 JICA 事業について	藤田	L9
10:40-11:40	青年海外協力隊のお仕事	比田井	
11:45-13:00	JICA食堂のお仕事	TBS	食堂
休憩			
14:00-16:00 （休憩含む）	民族衣装コーナー他展示品の整理	宮腰	管理棟

2日目 プログラム

時間	内容	担当	場所
9:30	到着	藤田	研修棟
9:40-10:50	JICAのお仕事について	鈴木	L9
11:00-11:45	民族衣装コーナー他展示品の整理	宮腰	管理棟
11:45-13:00	JICA食堂のお仕事	TBS	管理棟
休憩			
14:00-15:00	民族衣装コーナー他展示品の整理	宮腰	管理棟
15:00-16:00	ちびっこ博士 事前ブリーフィング	渡久地	管理棟他

3日目 プログラム

時間	内容	担当	場所
9:30	集合（最終打合せ）	渡久地	管理棟
11:00-12:30	ちびっこ博士 農業体験プロジェクト 「スイカの食味をしてみよう！」	渡久地	管理棟・実習棟
休憩			
14:00-16:00 （休憩含む）	JICA図書室について紹介、職場体験の報告書作成（JICA筑波のホームページへアップ）	松村 藤田	図書室
16:00	報告書提出・解散		

1. 仕事を通じて、楽しかったことや大変だったこと。

- 食堂のお仕事の時、たくさんの方々とお話できたこと。
- 仲間と協力して展示物をつくったこと。
- 民族衣装を着て、イベントに参加したこと。

2. 職場体験で学んだこと、印象に残ったこと。

- JICAのことやJICAつくばの特色、青年海外協力隊のお仕事など、それぞれ担当の方のお話を聞くことができ、とても勉強になりました。
- 石井修員のみなさんがとても明るくあいさつをしてくれて、心のはげみになりました。

3. 自分の将来に向けて考えたこと。

JICAで働くみなさんの話を聞いたり、姿を見たりして、仕事にほりを持っていると感じました。私も国際的な仕事をしたいと考えていましたが、大切なのは人の力になり役に立てることだと改めて実感しました。私もみなさんのように人の役に立ち、意義のある仕事をしたいと思います。

4. 国際協力について

あなたにはどのような国際協力ができそうだと思いますか。

- ・今すぐできること。
- ・募金活動に参加する。
- ・学んだことを周りの人々に伝えていく。
- ・国際協力をしている団体のサポートをする。
- ・将来、出来ること。

◦ 外国で、自分の技術が役に立つような仕事をする。

◦ 国際協力などを後世に伝える。



1. 仕事を通じて、楽しかったことや大変だったこと。

- 食堂での仕事で、研修員の方々とコミュニケーションがとれたこと。
- 食堂での食器洗いが大変でした。
- イベントで、小さい子とぶれ合ったり、スイカを食べたこと。

2. 職場体験で学んだこと。印象に残ったこと。

- 研修員の方々がみんなフレンドリーな人たちでした。
- 青年海外協カ隊には、たくさんの職種があることを知りました。青年海外協カ隊の方やJICAの職員の方の話聞いて、全く知らなかったことがたくさんあり、あどろきました。いろいろな活動をしていることが分かりました。

3. 自分の将来に向けて考えたこと。

私は、将来 外国の役に立てる仕事かしたいと思っています。今回 いろいろな話を聞き、世界には 貧しかったり内戦があったり、安全な暮らしができない国がまだまだたくさんあることが分かりました。そういう人々が減り、いずれはいなくなればいいなと思います。だから、私は、今自分にできることをやっていきたいと思いました。

4. 国際協力について

あなたにはどのような国際協力ができそうだと思いますか。

- 今すぐできること。
 - 今回 学んだことを周りの人に伝える。
 - 自分の身近にある国際協力に参加する。
 - 寄付や募金に参加する。
- 将来、出来ること。
 - 外国に関わることのできる仕事につく。
 - 次の世代の子どもたちにも伝えていく。

